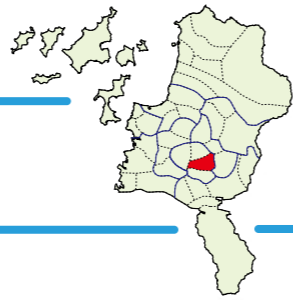


# やさか 八坂地区

人口:4,951人(高齢化率32.5%)  
世帯数:3,237世帯

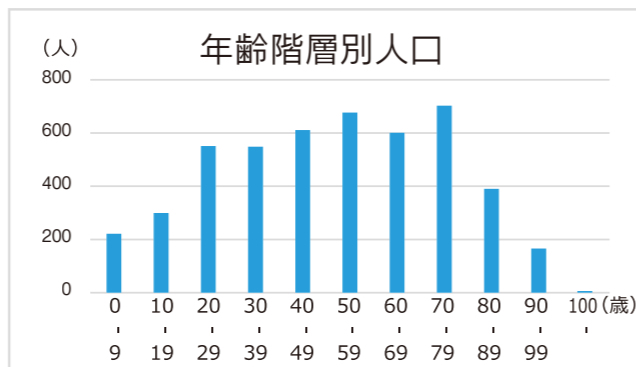


## 【地区の特色】

八坂の名の由来は京都の祇園神社にまで遡ることができる。明治27年12月5日に南八坂町に松山第3尋常小学校が開校し、持田や素鷲の方からも子どもたちが通っていた。この頃から通学区域を八坂校区と呼ぶようになった。現在の八坂校区には30の町がある。行政上の住所表示と異なり、昔からの町名の多くが残っているのがわが町「ふるさと八坂」。人々の交わり地方祭をはじめとする諸行事など生活上の様々な面で、今もそれぞれの街で昔からの強い絆を守りつづけている。



中の川通り



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松山市の中心部(街中)に位置し、飲食店などが多く存在している</li> <li>・マンションが増えている ・教育施設が多い ・高齢者福祉施設が多い</li> <li>・コンビニ、駐車場が多い ・デパート・商店街(大街道、銀天街)が近い</li> <li>・サロン活動が活発 ・元気な高齢者が多い</li> <li>・近所の子どもの顔が分かる ・子どもとの交流が多い</li> <li>・公民館と学校の連携が強い ・公民館行事が多い</li> <li>・街中で蛸が見られる ・石手川公園は自然豊かで、人が集う場所になる</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率が高い</li> <li>・子どもがいる世帯が少ない</li> <li>・交通量が多く危険</li> <li>・歩いて行ける範囲にスーパーがないため、買い物不便</li> <li>・市役所の支所がない</li> <li>・公民館にエレベーターがない(令和6年度に設置予定)</li> <li>・個人商店が少なくなった</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯が増加しているが、見守りの対象にならないため、見守りが行き届かず不安</li> <li>・昔からの住民と新しい住民の交流が少ない</li> <li>・マンション世帯との交流が少なく、世帯の情報を把握できない</li> <li>・交通量が多く危険</li> <li>・子どもがいる世帯が少ない</li> <li>・組織役員の後継者不足</li> </ul>

## 八坂地区社会福祉協議会 気配りの種まき 福祉の芽が出る明るい八坂

構成団体	地区民協・公民館・婦人会・町内会・小学校・PTA・まち協・地域連絡会 自主防災連合会・保護司会・更生保護女性部
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年2回、2,000部を作成し、地域福祉に関する情報を発信するため全戸配布しています。
サロン活動の支援	ふれあい・いきいきサロン4か所の活動が充実し、参加者が健康増進や交流を深められるように支援を行っています。
高齢者への訪問	毎年独居高齢者へ、年末におもち配り、3月3日のお節句にはちらし寿司を配布し、見守りをしています。

### やさかちいきふれあいパーティー

八坂小学校にて1・2年生の児童と地域の高齢者が昔の遊びやゲーム・クイズ、劇の発表などを通して、ふれあう機会となっています。また、給食も一緒に食べながら話が弾み、お互いの心に残る楽しく有意義な時間を過ごしています。



### <地区社協が目指すもの>

八坂地区ではホタルボランティアの人たちが蛸を長年育てており、また、地区の夏祭りでは地域の各世代の人が八坂音頭を「みんな輪になり」で踊り継いでいます。

八坂地区社協では高齢者が健康でいきいき活動し、これまで培ってきた緑豊かな自然や人の輪を大切に、少子高齢化の中でも子どもから高齢者まで世代を超えて見守り・支えられるよう元気で心豊かに生活できる八坂を目指していきます。

地区の状況	■地区民協	16名	■町内会・自治会・区長会等	28団体
	民生委員		■高齢クラブ	0クラブ
	主任児童委員		2名	■子ども会
	■まち協の設立	平成25年度	■自主防災組織	25組織

中心部に位置しているため交通の利便性が高い地区です。その地の利を活用し、地区の夏祭りや八坂音頭を踊り、ふれあいパーティーでコミュニケーションを図るなど世代間交流を深める場づくりが行われています。また、高齢者住民への働きかけの一環として、高齢者訪問やふれあい・いきいきサロン(4か所)を開催し活動の充実に努めています。今後は小学校を中心とした小地域活動を中心に地区社協構成団体との継続した連携・協働を推進することで、住民の暮らしの質はさらに向上することでしょう。

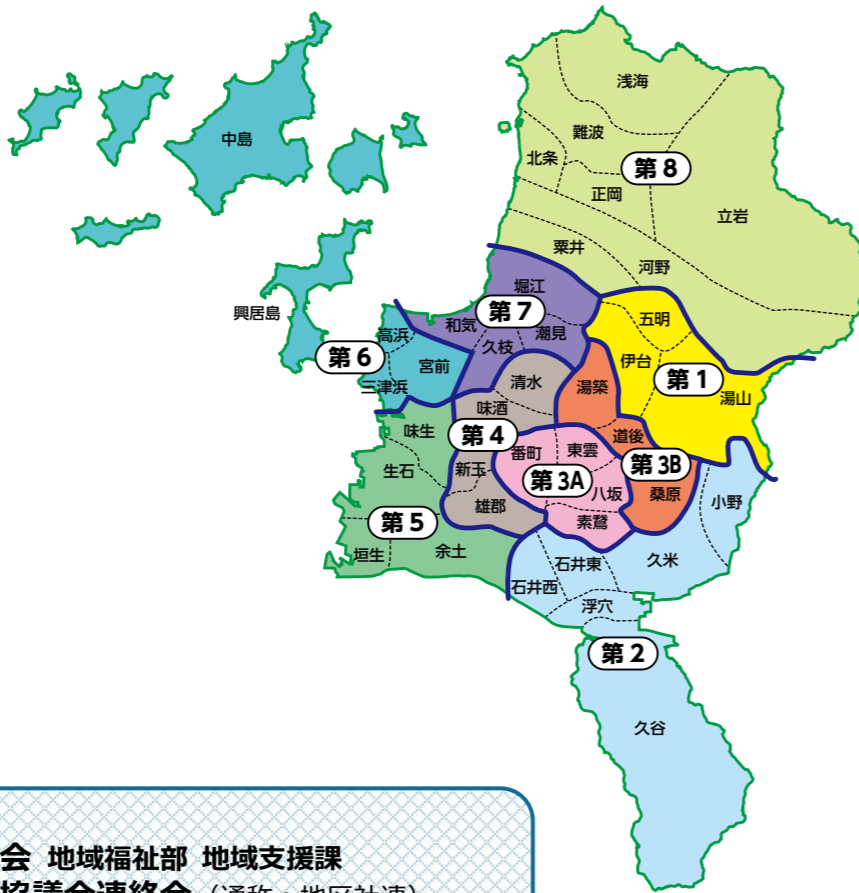


# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄生地区
	八坂地区		新玉地区		垣生地区
	東雲地区		清水地区		生石地区
	素鷲地区		味酒地区		味生地区
第3 B	道後地区	第4	雄郡地区	第5	雄生地区
	湯築地区		新玉地区		垣生地区
	桑原地区		清水地区		生石地区
第4	雄郡地区	第5	雄生地区	第6	垣生地区
	新玉地区		味酒地区		味生地区
	清水地区		味酒地区		味生地区
第5	余土地区	第6	雄生地区	第7	垣生地区
	垣生地区		味酒地区		味生地区
	生石地区		味酒地区		味生地区
第5	余土地区	第6	雄生地区	第7	垣生地区
	垣生地区		味酒地区		味生地区
	生石地区		味酒地区		味生地区
第5	余土地区	第6	雄生地区	第7	垣生地区
	垣生地区		味酒地区		味生地区
	味生地区		味酒地区		味生地区



**発行日** 令和6年4月  
**発行** 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）  
 〒790-0808 松山市若草町8番地2  
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>  
**作成** 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

## <『地域カルテ』の見方>

### ①地区の概要

- ・人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
- 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏